

学校応援団だより

NO.6-10(235) 令和7年3月17日

地域の伝統を未来へつなぐ！旭小学校 虚無僧踊り



児童は深編み笠をかぶった男性方と頭巾を被った女性方に分かれ、優雅で端整に踊りました



男方、女方、ピッタリ息があいました



発表会後の全校児童による楽器演奏

1月31日、旭小学校の5、6年生が学習発表会で「虚無僧踊り」を披露しました。踊りの指導や着付けに多くのボランティアの方が手伝ってくださいました。

練習を何回も重ね、手足の動きがきれいに揃い、優雅で端整な踊りとなりました。発表会后、全校児童による楽器演奏があり、「虚無僧踊り」に花を添えました。

地域の方が多数参加され「地元愛あふれる」発表会となりました。貴重な郷土芸能ですが指導者が少なくなり、継承が心配とのことです。

郷土の味を皆でつくる！ 生冠中学校 調理実習



レシピを生徒に説明する
教頭先生



鶏飯の具材を準備する
ボランティアと生徒



「つけあげ」作りを手伝う
ボランティアの方

生冠中学校の1年生が2月21日に郷土料理「鶏飯」と「つけあげ」の調理にチャレンジしました。生冠中では教頭先生自ら指導され、加えて、3名のボランティアの方が味付け等を支援されました。生徒はすり身の練り方等を教わり、慣れないながらも料理を完成させました。

調理の細かい指導は、ボランティアの方の支援が必須です。今後も学校運営委員会を中心とした学校支援活動が必要と思われました。

学校応援団と広げる「あいさつ運動」！

ichikikushikinoshi（いちき串木野市）は「i」がいっぱいあります。社会教育課は、地域の絆を深め、住民同士のコミュニケーションを促進する目的で、愛「i」溢れる「あいさつ運動」に取り組んでいます。

小中学校も、積極的に挨拶することが奨励され、学校を訪れるボランティアの方たちを温かく向かい入れています。挨拶を交わすことは、より良い人間関係を築きます。

学校応援団を推進し、生徒と地域住民の距離を縮ませる「あいさつ運動」は、地域の絆を深めることを実感しています。



挨拶運動
シンボルマーク
川上小5年
内田 創大

発行元・連絡先＝市来庁舎3階 市教育委員会 社会教育課

（TEL 21-5128）（FAX 36-5044）

地域学校支援コーディネーター（有元 操・藤崎 裕史）

* 本応援団だよりは右のQRコードを読み取り、カラー版でご覧頂けます。
また、市立図書館（本館）掲示板上にも張り出してあります。

